



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社 三ツ星
コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 競 良一
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小川 直樹

TEL 06-6261-8882

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,744	18.4	15	74.7	46	24.1	29	27.4
2020年3月期第1四半期	2,136	4.5	60	33.3	60	20.6	40	11.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 62百万円 (31.5%) 2020年3月期第1四半期 47百万円 (206.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	25.79	
2020年3月期第1四半期	35.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,345	5,688	60.9
2020年3月期	9,668	5,683	58.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 5,688百万円 2020年3月期 5,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	1,266,655 株	2020年3月期	1,266,655 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	124,779 株	2020年3月期	124,779 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	1,141,876 株	2020年3月期1Q	1,141,876 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(偶発債務)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響を受け、景気の低迷を余儀なくされました。日本国内において緊急事態宣言は解除されましたが、感染の衰えは未だ見えず経済活動においても慎重な姿勢が続いております。また、海外においても出入国が厳しく規制されており、当社としても活動が停滞する状況となりました。

当社グループにおいても従業員の健康・安全の確保等、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、生産量・販売量に合わせた企業活動に努めましたが、企業の設備投資や公共投資、住宅建設関連の市場の落ち込みを受け、厳しい事業環境となりました。

このような状況のなか、三ツ星グループ全体が一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図る一方で、生産性の向上に取り組み、ムリ・ムダ・ムラの排除を推進した結果、第1四半期連結累計期間においては黒字を確保することが出来ました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,744百万円（前年同期比18.4%減）、営業利益は15百万円（前年同期比74.7%減）、経常利益46百万円（前年同期比24.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同期比27.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔電線〕

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、2020年4月7日に緊急事態宣言が発令され先行きが不透明になり、得意先・ユーザーからの受注量が減少したことで、出荷量はゴム電線（前年同期比14.6%減）プラスチック電線（前年同期比21.4%減）ともに大きく減少することとなりました。

また、出荷量の減少や銅価格の下落で、売上高は、1,122百万円（前年同期比18.7%減）と前期より減少することとなりました。フィリピン政府が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためにロックダウン措置を執ったことで、現地子会社の生産活動に大きく影響し出荷遅延等で売上が減少する結果となりました。新型コロナウイルス感染症の影響で工事が遅延し、海外向け案件の納入が遅れていることも併せて、セグメント利益としては15百万円（前年同期比55.6%減）となりました。

新製品の開発においては、当社の強みである海洋、河川土木等で使用出来る災害対策用ケーブルや溶接機関連等に注力しました。その結果、通常のWCTより重量が約50%ダウンし、作業性にとても優れているAL-WCT（アルミ溶接ケーブル）を8月に発売する予定となっております。

また、現場での人手不足等を解消するために、納入して直ぐに作業が出来る加工製品の研究開発も進めています。

営業力の強化を目的として、営業職の研修会（商品、技術的な知識向上等）を技術開発センターで実施しました。

〔ポリマテック〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、当事業に関連のある新設戸建て住宅着工件数が前年同期比16.2%と大きく減少し、前期までに獲得した住宅関連の新規得意先からの受注も減少し、全体の売上高は484百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

機能樹脂関連も大手得意先の生産調整の影響を受けた結果、売上高は24百万円（前年同期比34.0%減）になりました。また、新設住宅着工件数も2020年度 73万戸、2021年度 74万戸と推測され、リーマンショック時の水準（78万戸）を下回る見込みとなっており、当社を取り巻く環境はより一層厳しくなることが見込まれます。一方、新設住宅着工件数は減少する予測になっていますがリフォーム市場（増改築、設備等の修繕）は微増が見込まれています。

当事業においては重点的な課題として、①既に参入している管更生工事をはじめとする公共工事関連業界への更なる参入 ②リフォーム市場への参入 ③市場環境に影響を受けにくい自社開発製品の立ち上げに取り組んで参ります。新規開拓では自社設備を最大限に活用し、金型作製から試作品立ち上げまでのスピードをアップして他社との差別化を図ることと、新規得意先候補を絞り集中訪問を実施します。自社開発製品に関しては材料メーカー、商社と連携し抗菌、抗ウイルス等、手の触れる場所への環境関連の製品化に注力します。また、海外展開に関しては国際事業部と連携し既存得意先への深耕及びアジア圏での販路拡大に努めます。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減等に取り組みましたが、売上高（生産量）の減少による生産性の低下に加え、原材料価格改定（コストダウン）の遅れと重なりセグメント利益は3百万円（前年同期比80.4%減）となりました。

[電熱線]

新型コロナウイルス感染症の影響による得意先の工場稼働の調整等の影響を受け、産業機器、白物家電、自動車、抵抗器等、全ての販売分野において受注が大幅に減少しました。特に自動車分野では新車販売台数が前年比大幅に減少する状況となっており、自動車分野への販売の減少は前年同期比55.1%減と大きく影響しました。このような状況のなか、ヒーター関連部材等の新規開拓に取り組みましたが、売上高は137百万円（前年同期比27.6%減）となりました。

利益面につきましては、経費の抑制、新工場による生産性の向上に取り組みましたが、売上高（生産量）の減少による生産性低下の影響が大きく、セグメント損失3百万円（前年同期セグメント利益7百万円）となりました。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての販売分野にて低調に推移する恐れがありますが、従来の電熱線事業に加え関連性のある部材、製品の販売にも着手するとともに、高ニッケル合金の新規鋼種の製造・販売及び比較的販売単価の高い極細線の販売に注力し、自動車や抵抗器関連への新規開拓及び海外市場での案件獲得を図り収益性の改善に取り組んでまいります。

新工場では、適切な生産設備の配置による生産効率の向上に取り組み、引き続き原価低減を図ってまいります。また今後、各分野、各企業において様々なリスクを分散させるために、サプライチェーンの見直しが行われることが予想されます。その場合には新規開拓の機会とするよう取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は5,746百万円となり、前連結会計年度末と比べ288百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が194百万円、商品及び製品が95百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ34百万円減少しました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が28百万円、有形固定資産のその他に含まれる機械装置及び運搬具が21百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は9,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ322百万円減少となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,073百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円減少しました。これは主に電子記録債務が242百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,582百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。これは主に長期借入金が68百万円、リース債務が15百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、3,656百万円となり前連結会計年度末に比べ328百万円減少しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は5,688百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が34百万円増加しましたが、利益剰余金が27百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.9%（前連結会計年度末は58.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年5月22日公表の決算短信に記載しております通り、新型コロナウイルス感染症の影響により現段階では合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定とさせていただきます。今後、業績への影響を慎重に見極め、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,431,387	1,482,763
受取手形及び売掛金	2,495,710	2,301,547
電子記録債権	452,295	420,141
商品及び製品	982,454	886,839
仕掛品	242,356	244,540
原材料及び貯蔵品	320,058	306,059
その他	110,954	104,526
流動資産合計	6,035,217	5,746,419
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,520,009	1,519,787
その他(純額)	1,438,331	1,386,834
有形固定資産合計	2,958,341	2,906,621
無形固定資産		
	153,780	150,944
投資その他の資産		
投資有価証券	415,546	466,339
その他	107,058	76,786
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	520,830	541,350
固定資産合計	3,632,952	3,598,916
資産合計	9,668,169	9,345,335
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	364,120	410,396
電子記録債務	1,176,224	933,411
短期借入金	102,022	116,921
1年内返済予定の長期借入金	303,223	298,183
リース債務	66,818	64,547
未払金	171,197	106,321
未払法人税等	13,317	5,366
賞与引当金	48,193	17,132
その他	65,311	121,470
流動負債合計	2,310,428	2,073,751
固定負債		
長期借入金	1,366,745	1,298,390
退職給付に係る負債	86,285	81,464
リース債務	210,752	194,919
その他	10,783	7,899
固定負債合計	1,674,566	1,582,672
負債合計	3,984,995	3,656,424

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,657	1,133,657
利益剰余金	3,391,940	3,364,300
自己株式	△150,590	△150,590
株主資本合計	5,511,526	5,483,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,849	160,443
為替換算調整勘定	16,627	16,025
退職給付に係る調整累計額	29,171	28,556
その他の包括利益累計額合計	171,648	205,025
純資産合計	5,683,174	5,688,911
負債純資産合計	9,668,169	9,345,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,136,594	1,744,380
売上原価	1,683,937	1,388,512
売上総利益	452,656	355,867
販売費及び一般管理費	392,470	340,623
営業利益	60,186	15,243
営業外収益		
受取利息	15	7
受取配当金	6,163	5,784
受取家賃	2,151	1,620
仕入割引	1,312	1,033
助成金収入	—	25,604
その他	2,849	5,537
営業外収益合計	12,492	39,588
営業外費用		
支払利息	3,168	3,103
売上割引	4,560	4,046
支払負担金	3,330	855
その他	1,004	804
営業外費用合計	12,064	8,810
経常利益	60,614	46,021
特別利益		
投資有価証券売却益	1,333	—
特別利益合計	1,333	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	61,948	46,021
法人税、住民税及び事業税	11,142	3,451
法人税等調整額	10,209	13,117
法人税等合計	21,351	16,568
四半期純利益	40,596	29,453
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,596	29,453

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	40,596	29,453
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,485	34,593
為替換算調整勘定	△276	△601
退職給付に係る調整額	△1,006	△614
その他の包括利益合計	7,203	33,376
四半期包括利益	47,799	62,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	47,799	62,830

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(訴訟関連)

当社は、三和シャッター工業株式会社及びベニックス株式会社から、当社製品の瑕疵を原因とするリコール費用の請求(305,816千円)の損害賠償を求める訴訟を提起されております。当社への訴状の送達日は2020年6月25日であります。

当社と致しましては当社製品の瑕疵は認められず、本請求にかかる支払義務はないものと確信しておりますので、裁判ではその旨を主張し争っていく方針です。従いまして、現時点では当該訴訟が当社の業績に与える影響はないものと判断しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,380,361	566,133	190,099	2,136,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	381	—	—	381
計	1,380,742	566,133	190,099	2,136,975
セグメント利益	35,070	17,443	7,672	60,186

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	1,122,635	484,053	137,691	1,744,380
セグメント間の内部売上高又は振替高	743	—	92	835
計	1,123,378	484,053	137,783	1,745,215
セグメント利益	15,562	3,411	△3,729	15,243

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。